

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり3.14人の報告があり、増加が続いています。全国でも増加傾向であり、注意が必要です。手洗いの励行、咳エチケット、換気など、基本的な感染予防対策を心がけましょう。

2 伝染性紅斑

定点当たり4.00人の報告があり、多い状況です。前週末まで2週連続で減少傾向でしたが、再び増加しており、注意が必要です。

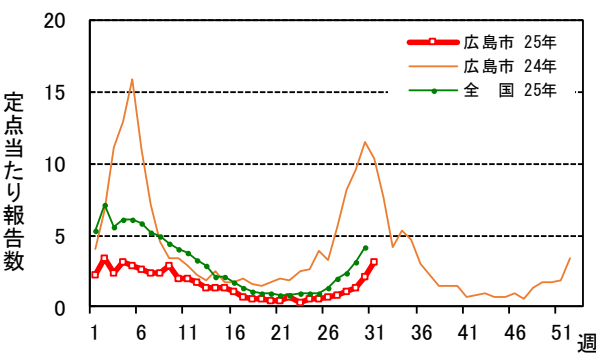
3 百日咳

57件の報告があり、多い状況が続いています。乳児は重症化リスクが高く、特に注意が必要です。予防にはワクチン接種が有効です。定期接種対象者は早めに接種を受けましょう。

4 日本紅斑熱

1件の報告があり、今年の累計は3件となりました。(次ページ参照)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行状況



定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1916	54.74			→	小児科	突発性発しん	7	0.32	0.26		
	インフルエンザ	-	-	0.12				ヘルパンギーナ	25	1.14	0.79		↘
	新型コロナ(COVID-19)	110	3.14			↘		流行性耳下腺炎	-	-	0.02		
小児科	RSウイルス感染症	6	0.27	3.17			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		
	咽頭結膜熱	11	0.50	0.35				流行性角結膜炎	3	0.38	0.33		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	50	2.27	1.10		→	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	感染性胃腸炎	115	5.23	2.27		→		無菌性髄膜炎	-	-	0.03		
	水痘	5	0.23	0.12				マイコプラズマ肺炎	13	2.17	0.63		
	手足口病	17	0.77	4.41		↘		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	伝染性紅斑	88	4.00	0.02		↘		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇐ ⇒ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	75	30歳代・市外・推定感染地域: 国外・1人、50歳代・1人、70歳代・1人、80歳代・2人
4	日本紅斑熱	1	3	70歳代
5	梅毒	5	83	20歳代・1人、40歳代・4人
5	百日咳	57	719	10歳未満・17人、10歳代・27人、30歳代・2人、40歳代・4人、50歳代・2人、60歳代・4人、70歳代・1人
5	麻しん	1	2	30歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	(COVID-19) 新型コロナウイルス感染症	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
報告数	広島市	第27週	1,915	3	30	1	11	59	116	3	21	94	7	42	1	-	14	-	-	17	-	-
		第28週	1,965	1	39	2	5	42	151	1	22	97	3	60	3	-	10	-	-	11	-	-
		第29週	1,899	2	48	3	11	69	129	8	22	71	6	53	-	-	10	-	-	11	-	-
		第30週	1,754	1	74	6	7	51	118	5	22	67	10	38	3	-	7	-	-	13	-	-
		第31週	1,916	-	110	6	11	50	115	5	17	88	7	25	-	-	3	-	-	13	-	-
定点当たり	広島市	第27週	54.71	0.09	0.86	0.05	0.50	2.68	5.27	0.14	0.95	4.27	0.32	1.91	0.05	-	1.75	-	-	2.83	-	-
		第28週	56.14	0.03	1.11	0.09	0.23	1.91	6.86	0.05	1.00	4.41	0.14	2.73	0.14	-	1.25	-	-	1.83	-	-
		第29週	54.26	0.06	1.37	0.14	0.50	3.14	5.86	0.36	1.00	3.23	0.27	2.41	-	-	1.25	-	-	1.83	-	-
		第30週	50.11	0.03	2.11	0.27	0.32	2.32	5.36	0.23	1.00	3.05	0.45	1.73	0.14	-	0.88	-	-	2.17	-	-
		第31週	54.74	-	3.14	0.27	0.50	2.27	5.23	0.23	0.77	4.00	0.32	1.14	-	-	0.38	-	-	2.17	-	-
全国		第29週	54.05	0.30	3.13	0.50	0.55	2.20	5.30	0.34	0.60	2.08	0.35	1.87	0.06	0.01	0.89	0.02	0.06	0.99	0.01	0.02
		第30週	48.20	0.32	4.12	0.53	0.45	1.60	4.19	0.34	0.59	1.88	0.33	1.63	0.05	0.01	0.83	0.01	0.07	0.83	0.01	0.02

■ 新たに判明した病原体検出状況

感染症発生動向調査に基づく病原体定点医療機関からの搬入分(ARI分を除く)のみ掲載

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
伝染性紅斑	発熱(38.0℃) 紅斑	3	2025/06/19	咽頭拭い液	ハルホウイルスB19

(検査: 広島市衛生研究所)

■ 病原体検出状況(ARIサーベイランス)

感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

検体採取週	検査検体数	陽性検体数*	インフルエンザウイルス (H1N1)2009型	インフルエンザウイルス A(H3)型	インフルエンザウイルス (B型)	RSウイルス (SARS-CoV-2)	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニューモ ウイルス	パラインフルエンザ ウイルス1型	パラインフルエンザ ウイルス2型	パラインフルエンザ ウイルス3型	パラインフルエンザ ウイルス4型	パラインフルエンザ ウイルス5型	ライノウイルス エンテロウイルス	アデノウイルス
第26週	14	10					1						6	1	2	1	
第27週	19	13					2	1			1		4	2	3	1	
第28週	11	4					1						2	1	2		
第29週	18	12					2		1				1	1	8	1	
第30週	16	10					2	1	1					4	5	2	

* 同一検体からの複数ウイルス検出例を含む (検査: 広島市衛生研究所)

詳しくはホームページで

広島市 病原体



検索

【参考】マダニが媒介する感染症に注意しましょう！

マダニが媒介する感染症には、日本紅斑熱や重症熱性血小板減少症候群(SFTS)があり、主にマダニの活動が盛んな春から秋にかけて報告があります。主な症状は、日本紅斑熱は発熱や発疹、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)は発熱や消化器症状で、重症化すると死亡することもあります。

予防には、マダニに刺されないようにすることが重要です。山や草むらに入るときは、長袖・長ズボンなどを着用して皮膚の露出を少なくし、マダニの付着を防ぎましょう。また、屋外活動後は入浴し、マダニが付着していないか確認しましょう。吸血中のマダニに気づいたときは、無理に引き抜こうとせず、皮膚科などを受診して除去してもらいましょう。



【参考】ダニ媒介感染症(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>



山や草むらに入
入ときの服装

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp